

05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ

施策名称		総括評価	今後の方向性
1健康づくりの推進	B	<p>成果指標において、後期高齢者対象の人間ドック補助件数は、目標値を上回っていますが、それ以外は横ばい、常態または減少傾向となっています。市民満足度調査において、健康づくりの推進は重要度が高く、市民の関心や意識が高いことが伺われます。</p>	<p>「いしおか健康応援プラン」に基づいて、今後も健康づくりに関して普及・啓発を徹底し、事業を推進していきます。</p>
2地域医療の充実	C	<p>市民の生命と健康のため、初期救急及び第2次救急医療の運営は順調に実施しています。しかし石岡地域において、平日夜間の小児初期救急が整備されておらず、また分娩できる産科がなくなっていることから、小児科医、産科医の確保が課題です。</p>	<p>近隣市とともに、医療関係者や市民、行政で構成する市民医療懇談会を設置し、石岡地域における今後の医療体制の在り方を協議、検討していきます。</p>
3子育て環境の充実	A	<p>児童手当・児童扶養手当・保育等の法に定められた事業については、適正に行っております。また、子育て支援事業等市が独自で行っている事業「おむつ無料クーポン」「家賃助成」については、経済的支援に貢献していくことが期待できます。このほか多様化する保育需要に対応するため受け皿確保については、平成29年度に市内施設全ての利用定員の見直しを行いました。</p>	<p>幼児期の学校教育や保育及び地域の子ども・子育て支援を総合的に推進することにより、子どもを産み、育てやすい環境作りを進めます。</p>
4高齢者福祉や介護予防の充実	A	<p>高齢者の増加に伴い、高齢者世帯や一人暮らし高齢者世帯が増加しております。また、日常生活支援総合事業対象者、要支援者及び要介護サービス利用者数は増加傾向にあります。介護保険事業では、平成29年度までが計画期間である第6期石岡ふれあい長寿プランに基づき、各種施策や事業が適正な水準で実施されています。</p>	<p>高齢者が生涯現役で生きがいをもって現役で活躍できるよう社会参加活動を進め、第7期石岡ふれあい長寿プランに基づき、高齢者が安心して暮らせる在宅福祉事業の充実を目指していきます。</p>

05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ

施策名称		総括評価	今後の方向性
5障がい者福祉の充実	A	<p>障害福祉サービスや地域生活支援事業のサービスなどにより障害者の自立や社会参加等の推進が図られています。</p>	<p>障がい者各人の障がい（特徴）を認識し、地域社会で等しく暮らせるよう健常者の理解の促進を進めていきます。</p>
6地域福祉の充実	B	<p>避難行動要支援者避難支援登録台帳の地域支援者を確保することが課題ですが、台帳登録者と地域住民との関わりを見据えながら地域支援者の確保を進めていく必要があります。</p>	<p>支援が必要な住民が住み慣れた地域で暮らせるよう、行政、地域住民、民生委員・児童委員、社会福祉協議会等が連携して支援をしていきます。</p>
7生活困窮者等の自立支援	A	<p>生活保護申請受理とともに、各種助言や関係機関への紹介などにより、目標達成に向けて概ね順調に進んでいます。 生活困窮者自立支援法に基づいた就労支援を行う嘱託員を配置し、年間延べ169回の就労自立に向けた面接等の対応を行いました。</p>	<p>相談員の質的な向上を図るとともに、関係機関とより連携した支援を行うことができるよう事業の充実を図っていきます。</p>
8社会保障制度の安定した運営	B	<p>国民健康保険事業では、ウォーキング大会等の生活習慣病予防活動を実施しました。特定健康診査や特定保健指導では目標値には達していませんが、受診率は前年度を上回ったことや国民健康保険税の収納率の向上がみられました。 介護保険事業では、第6期石岡ふれあい長寿プランに基づき各種施策や事業が実施され、順調に進んでいます。 また、後期高齢者医療制度、医療福祉制度では、関係機関との連携により、適切な運用が図られました。</p>	<p>関係機関との連携を図り、安定した運営に努めます。</p>

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ
基本施策	01健康づくりの推進
具体的取り組み例	予防接種への助成，妊婦や乳幼児健診の実施

1 総括評価

<h1>B</h1>	総括評価
	<p>成果指標において，後期高齢者対象の人間ドック補助件数は，目標値を上回っていますが，それ以外は横ばい，常態または減少傾向となっています。市民満足度調査において，健康づくりの推進は重要度が高く，市民の関心や意識が高いことが伺われます。</p>
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	<p>「いしおか健康応援プラン」に基づいて，今後も健康づくりに関して普及・啓発を徹底し，事業を推進していきます。</p>

2 主要事業の概要

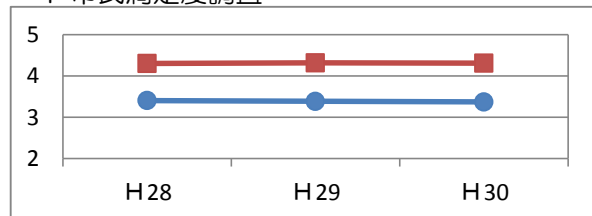
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
成人保健事業【保険年金課】	人間ドック等の受診者数は昨年度より35人増の157人でした。今後も定期的な受診の推進と補助制度の周知に努めます。
成人保健事業【健康増進課】	健康診査・がん検診の受けやすい検診体制を整えます。若い世代から健康行動を身に付け，自律的に健康維持等ができるように支援します。
健康づくり推進事業【健康増進課】	生活習慣病予防のため，野菜摂取量増加及び適塩の普及啓発活動等を実施しています。また，歯と口腔の健康づくり推進のため，歯科医師会と連携しながら，啓発活動に取り組んでいきます。
母子保健事業【健康増進課】	子育て世代包括支援センター事業により，相談体制が充実しました。妊婦歯科健診，産婦健診等で産前産後の健康づくりを推進します。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29 (実績値)
乳児家庭訪問の実施率	4か月までの乳児のいる家庭への全戸家庭訪問	%	99.0 (H24)	99.5	98.0
自分の健康に関心のある女性	市の行なう子宮・乳がん検診を受診した女性の人数	人	4,219 (H24)	4,500	4,045
人間ドック補助件数	人間ドック・脳ドック・基本健診有脳ドックの補助件数	件	76 (H24)	100	157
健康づくりに関心のある市民	食生活改善推進員として健康づくりに関心をもち活動する人数	人	124 (H23)	130	128

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成28年度調査	3.41	4.30
平成29年度調査	3.38	4.32
平成30年度調査	3.37	4.31

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ
基本施策	02地域医療の充実
具体的取り組み例	休日・夜間の診療体制の確立，第二次救急診療の当番病院への運営補助

1 総括評価

<h1>C</h1>	総括評価
	市民の生命と健康のため，初期救急及び第2次救急医療の運営は順調に実施しています。しかし石岡地域において，平日夜間の小児初期救急が整備されておらず，また分娩できる産科がなくなっていることから，小児科医，産科医の確保が課題です。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	近隣市とともに，医療関係者や市民，行政で構成する市民医療懇談会を設置し，石岡地域における今後の医療体制の在り方を協議，検討していきます。

2 主要事業の概要

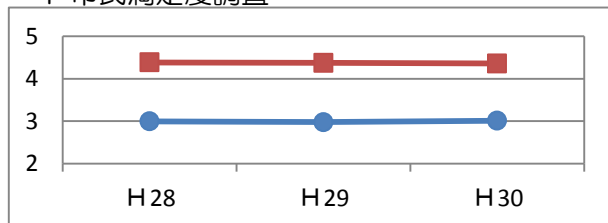
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
保健衛生一般事務費【健康増進課】	市民へのセーフティネットの提供のために，継続して実施いたします。
診療業務費【健康増進課】	市民へのセーフティネットの提供のために，継続して実施いたします。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29 (実績値)
緊急診療・在宅当番医開設率	緊急診療等の開設予定日に対する実施率	%	100.0 (H22)	100	100
第二次救急医療病院群輪番制診療実施率	診療予定日における診療実施率	%	100.0 (H22)	100	100

4 市民満足度調査

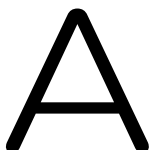


	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成28年度調査	2.99	4.38
平成29年度調査	2.98	4.37
平成30年度調査	3.01	4.36

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ
基本施策	03子育て環境の充実
具体的取り組み例	地域子育て支援センターの設置，児童クラブの運営

1 総括評価

	総括評価
	児童手当・児童扶養手当・保育等の法に定められた事業については，適正に行っております。また，子育て支援事業等市が独自で行っている事業「おむつ無料クーポン」「家賃助成」については，経済的支援に貢献していくことが期待できます。このほか多様化する保育需要に対応するため受け皿確保については，平成29年度に市内施設全ての利用定員の見直しを行いました。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	幼児期の学校教育や保育及び地域の子ども・子育て支援を総合的に推進することにより，子どもを産み，育てやすい環境作りを進めます。

2 主要事業の概要

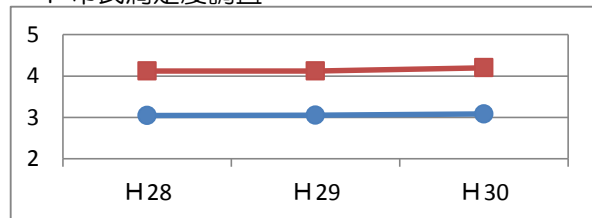
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
子育て支援事業【こども福祉課】	幼児期の学校教育や保育及び地域の子ども・子育て支援を総合的に推進することにより，子どもを産み，育てやすい環境作りを進めます。また，子どもの育ちに係る費用を支援することにより，子育てしやすい環境を整え，少子化を抑制することを目指します。
保育等運営経費【こども福祉課】	平成29年度において示された公定価格，人事院勧告，保育士等処遇改善の制度改定に伴い各施設の運営費加算分が，増加します。
保育支援関係経費【こども福祉課】	国の基準を遵守して事業を行っています。今後も多様化する教育・保育サービスの対応して実施いたします。
児童手当経費【こども福祉課】	制度内容の周知・申請期限などの手続きに関する通知等を引き続き丁寧に行います。また今後も現況届け未提出者の削減に努めます。
放課後児童健全育成事業【生涯学習課】	公立児童クラブ運営の効率化，支援員の資質向上と確保に努めるとともに，公立児童クラブの民間委託の是非を含めた検討を進めます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29(実績値)
地域子育て支援センター利用者数	年間の延べ利用者数	人	13,563(H22)	15,000	28,460
待機児童数	入所資格を有するも，市内の保育所に入所ができない児童数	人	0(H22)	0	0
児童クラブ利用者数	学童保育を利用する児童数	人	549(H22)	700	793

4 市民満足度調査




	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成28年度調査	3.04	4.12
平成29年度調査	3.05	4.12
平成30年度調査	3.08	4.20

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ
基本施策	04高齢者福祉や介護予防の充実
具体的取り組み例	介護予防活動普及のための人材育成，生涯現役で活躍できる環境づくり

1 総括評価

	総括評価
	<p>高齢者の増加に伴い，高齢者世帯や一人暮らし高齢者世帯が増加しております。また，日常生活支援総合事業対象者，要支援者及び要介護サービス利用者数は増加傾向にあります。介護保険事業では，平成29年度までが計画期間である第6期石岡ふれあい長寿プランに基づき，各種施策や事業が適正な水準で実施されています。</p>
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	<p>高齢者が生涯現役で生きがいをもって現役で活躍できるよう社会参加活動を進め，第7期石岡ふれあい長寿プランに基づき，高齢者が安心して暮らせる在宅福祉事業の充実を目指していきます。</p>

2 主要事業の概要

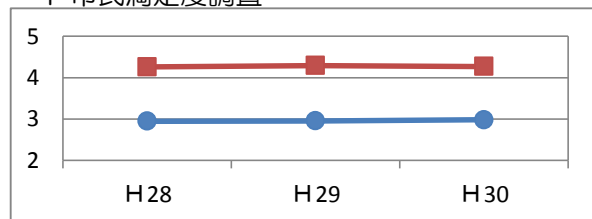
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
在宅高齢者サービス事業【高齢福祉課】	今後も高齢者が自立した生活を維持できるように継続的に事業の実施を行います。
介護保険特別会計（総括）	高齢者の増加に伴う需要増が見込まれるため，事業規模が拡大していくことが想定されます。事業の継続性と適正性の確保が求められています。
介護サービス事業会計（総括）【高齢福祉課】	国は社会保障制度と税の一体改革を進めており，「認知症施策」「在宅医療・介護連携の推進」「生活支援体制整備」等，介護サービスの効率化及び重点化を図りつつ，必要な介護サービスの確保を掲げています。このような制度改革に合わせ，事業の展開を行っていきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29 (実績値)
要支援・要介護認定者率	65歳以上の高齢者に占める要支援・要介護認定者の割合	%	16.27 (H24)	16.32	16.01
施設入所率	65歳以上の高齢者に占める施設入所者の割合	%	3.6 (H24)	3.8	3.4
ケアマネジメント数	要支援1・2等のケアプラン作成件数	件	3,394 (H22)	3,842	5,146
シルバーリハビリ体操指導士養成数	シルバーリハビリ体操指導士3級養成延数	人	0 (H22)	100	116

4 市民満足度調査




	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成28年度調査	2.95	4.26
平成29年度調査	2.95	4.29
平成30年度調査	2.98	4.27

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ
基本施策	05障がい者福祉の充実
具体的取り組み例	障害福祉サービス費の給付，補助装具の支給，地域活動支援センターの運営

1 総括評価

	総括評価
	障害福祉サービスや地域生活支援事業のサービスなどにより障害者の自立や社会参加等の推進が図られています。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	障がい者各人の障がい（特徴）を認識し，地域社会で等しく暮らせるよう健常者の理解の促進を進めていきます。

2 主要事業の概要

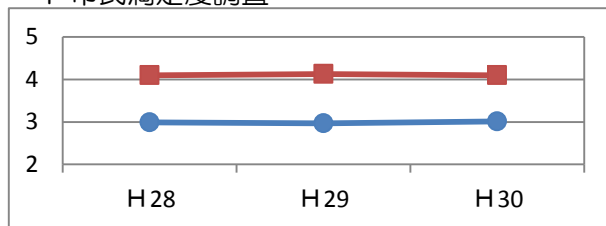
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
障害者自立支援給付事業【社会福祉課】	障害福祉サービス費の給付や自立支援医療の給付，補装具費の支給等により障害者を支え，障害者の自立や社会参加等の推進が図られるため，適切であると考えられます。
障害者地域生活支援事業【社会福祉課】	地域で生活する障害者のニーズを踏まえ，地域の実情に応じた事業を実施し，障害者の自立を支援していきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29 (実績値)
障害者就労施設への物品等発注	市や市の委託事業等で物品等を発注した障害者就労施設の数	施設数	4 (H25)	6	6
障がい者と健常者の交流	障がい者スポーツ大会へのボランティア参加者数	人	67 (H25)	90	79

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成28年度調査	2.99	4.10
平成29年度調査	2.97	4.13
平成30年度調査	3.01	4.10

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ
基本施策	06地域福祉の充実
具体的取り組み例	地域住民や専門家等による支援体制の整備，支援が必要な一人暮らし世帯の見守り活動

1 総括評価

<h1>B</h1>	総括評価
	避難行動要支援者避難支援登録台帳の地域支援者を確保することが課題ですが，台帳登録者と地域住民との関わりを見据えながら地域支援者の確保を進めていく必要があります。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	支援が必要な住民が住み慣れた地域で暮らせるよう，行政，地域住民，民生委員・児童委員，社会福祉協議会等が連携して支援をしていきます。

2 主要事業の概要

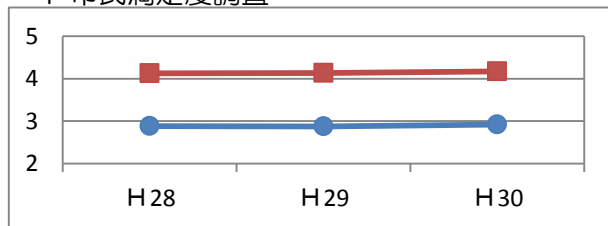
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
民生委員等経費【社会福祉課】	民生委員・児童委員が地域と行政のパイプ役となり，地域支えあいとなることで援助を必要とする人が自立した生活を営めるように支援します。
介護保険特別会計（総括）【高齢福祉課】	高齢者の増加に伴う需要増が見込まれるため，事業規模が拡大していくことが想定されます。事業の継続性と適正性の確保が求められています。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29 (実績値)
避難行動要支援者に対する近隣支援者数	避難行動要支援者避難支援登録台帳に登録された近隣支援者の確保割合	%	52.8 (H25)	80	52.76
地域ケアシステムチーム数	年度内の在宅ケアチーム数	チーム	184 (H22)	180	174

4 市民満足度調査




	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成28年度調査	2.88	4.13
平成29年度調査	2.88	4.13
平成30年度調査	2.92	4.17

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ
基本施策	07生活困窮者等の自立支援
具体的取り組み例	生活困窮者の求職支援、ハローワークと連携した就労支援

1 総括評価

	総括評価
	<p>生活保護申請受理とともに、各種助言や関係機関への紹介などにより、目標達成に向けて概ね順調に進んでいます。</p> <p>生活困窮者自立支援法に基づいた就労支援を行う嘱託員を配置し、年間延べ169回の就労自立に向けた面接等の対応を行いました。</p>
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	相談員の質的な向上を図るとともに、関係機関とより連携した支援を行うことができるよう事業の充実を図っていきます。

2 主要事業の概要

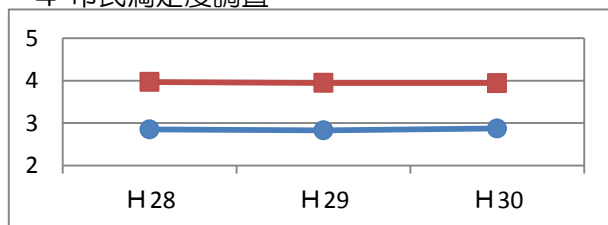
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
生活保護適正実施推進事業【社会福祉課】	国のセーフティネット支援対策事業に基づき運用していきます。
生活保護費【社会福祉課】	今後も生活保護法に基づいた事業運営を行っていきます。
生活困窮者自立支援事業【社会福祉課】	広報等に努め、相談件数や支援件数が増えるよう取り組む必要があります。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29 (実績値)
就労による自立世帯数	就労した世帯のうち、増収に伴い生活保護から自立した世帯の割合	%	26 (H24)	30	25.33
生活保護廃止世帯のうち自立した世帯数	生活保護が廃止された世帯のうち自立により廃止された世帯の割合	%	38 (H24)	40	48

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成28年度調査	2.85	3.97
平成29年度調査	2.83	3.94
平成30年度調査	2.87	3.94

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ
基本施策	08社会保障制度の安定した運営
具体的取り組み例	ウォーキング大会の実施などによる生活習慣病予防活動、介護サービスの実施

1 総括評価

B	総括評価
	<p>国民健康保険事業では、ウォーキング大会等の生活習慣病予防活動を実施しました。特定健康診査や特定保健指導では目標値には達していませんが、受診率は前年度を上回ったことや国民健康保険税の収納率の向上がみられました。</p> <p>介護保険事業では、第6期石岡ふれあい長寿プランに基づき各種施策や事業が実施され、順調に進んでいます。また、後期高齢者医療制度、医療福祉制度では、関係機関との連携により、適切な運用が図られました。</p>
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	関係機関との連携を図り、安定した運営に努めます。

2 主要事業の概要

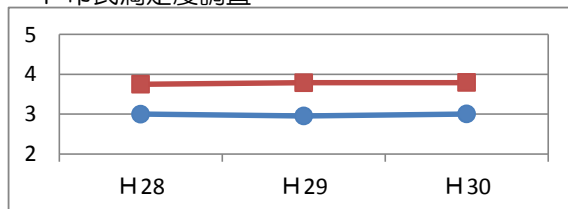
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
国民健康保険会計（総括）【保険年金課】	国民健康保険は、平成30年度から県が財政運営の責任主体となり、市町村は引き続き資格管理、保険給付、保険税の賦課・徴収及び保健事業を実施していきます。
後期高齢者医療会計（総括）【保険年金課】	茨城県後期高齢者医療広域連合と連携し、市の担当業務を適正に進めます。徴収事務は公平公正な保険料徴収に努め、徴収率向上を目指します。
医療福祉一般事務費【保険年金課】	今後も制度改正に留意し、条例等に基づき事業を適正に実施していきます。
医療福祉市単独事業【保険年金課】	県制度の改正も関与してくるため、制度改正等に留意し、条例等に基づき事業を適切に実施していきます。
介護保険特別会計（総括）	高齢者の増加に伴う需要増が見込まれるため、事業規模が拡大していくことが想定されます。事業の継続性と適正性の確保が求められています。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29 (実績値)
国民健康保険税収納率・ (現年度分)	国民健康保険税収納額／国民健康保険税調定額	%	87.3 (H22)	90	92.02
特定健康診査実施率	特定健康診査受診者数／特定健康診査受診対象者数	%	30.2 (H22)	60	36.7 (H28)
特定保健指導指導率	特定保健指導実施者／特定保健指導対象者数	%	21.3 (H24)	60	41.6 (H28)
介護（介護予防）サービス利用者数	居宅介護・地域密着型・施設サービス利用者数	人	30,196 (H22)	35,100	39,831

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成28年度調査	3.00	3.75
平成29年度調査	2.96	3.79
平成30年度調査	3.00	3.79